

## 平成18年度 此田地すべり地区観測調査 調査実施中

・此田地区には地すべり対策の調査として様々な観測機器が設置されています。地すべり観測を定期的の実施する事で、地すべり状況を把握するとともに、地すべり機構の解析及び効果判定等を検討するための基礎資料として役立てています。

### 地下水位観測



地下水位観測の中で最も多いのが左上のオフラインと呼ぶ水位計です。この機器と左下のフロート式自記水位計は、自動観測しています。また、手動による観測も行っています。（右写真）

### 集水井観測



集水井に集まる水量を自動観測しています。

### 地盤傾斜計



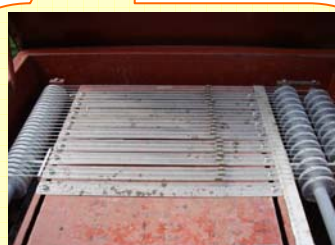
気泡管式水準計を用い、東西・南北方向に対する地盤の傾斜を観測します。

### 孔内傾斜計観



ボーリング孔に孔内挿入型傾斜計を挿入し地盤の動きを観測します。

### 多層伸縮計



### パイプ歪計



多層伸縮計は地中のワイヤーの移動量を見ることで観測します。パイプ歪計は地中パイプの歪みを測定します。両機とも地すべり状況を観測します。

調査中は、周辺住民の皆様方、御通行中の皆様方には、私有地への立ち入り、道路周辺での作業等、大変御迷惑をおかけしておりますが、御理解、御協力のほど宜しくお願い申し上げます。

調査機関 株式会社 峰コンサル  
主任技術者 齊藤 明  
現場代理人 藤澤正志